

## 令和2年度の取り組みについて【報告】

新型コロナウイルス感染拡大状況での近畿教育オーディオロジー研究協議会の取り組み

令和2年1月に行われた令和元年度第3回代表委員会で令和2年度における活動の企画・運営について確認を行いました。3月末までに令和元年度の活動を集録にまとめて会員に送付し、令和2年度の会員募集を行っていました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年度の近畿教育オーディオロジー研究協議会の活動も変更を余儀なくされました。

令和2年5月には令和2年度の会員募集中止と8月に予定していた第22回夏の講演会・講習会中止（1年延期）の扱いとして会員に案内しました。

7月に入って事務局役員会をリモート形式で行いました。そして、8月には代表委員会をリモート形式で行って7月の事務局役員会の提案について話し合いました。この頃には、新型コロナウイルス感染症拡大傾向（第2波）にあり、残念ながら10月に予定していた秋の講演会も中止（1年延期）という判断となりました。

1月に予定していた冬の学習会は実現させよう！と、担当校である奈良県立ろう学校の先生方が企画・運営を進めてくださいました。12月に近畿地区の聾

学校・難聴学級の代表委員・事務局員で冬の学習会の練習としてリモート形式での事例検討会・情報交換会を行いました。令和3年に入り、冬の学習会に向けて奈良県立ろう学校の先生方が準備を進め、リモート形式での冬の学習会の練習も行いました。しかし、令和3年1月14日（木）より近畿2府1県にも緊急事態宣言が発令されたことにより、最終的に冬の学習会の開催は難しいとの判断に至り、冬の学習会も延期の扱いとしました。冬の学習会は実現させようとして取り組んできていただけに、とても残念な結果となりました。

近畿教育オーディオロジー研究協議会では、この9年間は事務局を近畿地区の聾学校から3年交代で担当校を決めて運営しており、令和3年度（令和3年4月）より事務局校が和歌山ろう学校から大阪府立中央聴覚支援学校に移管されます。近畿教育オーディオロジー研究協議会の20年間の取り組みを引き継いで、和歌山ろう学校が事務局として3年間運営に携わってきました。新型コロナウイルス感染症拡大傾向に伴い、新しい形での取り組みを模索してきたこの1年間でしたが、次期事務局にこれまでの取り組みを引き継いでいただき、これまで以上に近畿教育オーディオロジー研究協議会の取り組みを発展させていけるように我々のスローガンでもある「近畿は一つ」の思いを持って近畿地区の聾学校・難聴学級のつながりを深めつつ進めていきたいと思っています。

平成31年（令和元年度）		令和2年度	
5月	代表委員会 機関紙発行	5月	代表委員会（延期） 機関紙発行
7月	事例検討会	7月	事務局役員会（リモート）
8月	代表委員会 夏の講演会・講習会	8月	代表委員会（リモート） 夏の講演会・講習会（延期）
9月	機関紙発行	9月	機関紙発行
10月	秋の講演会	10月	秋の講演会（延期）
11月	機関紙発行	12月	事例検討会（リモート）
12月	事例検討会	12月	冬の学習会リモート練習
1月	代表委員会	1月	冬の学習会リモート練習
2月	冬の学習会	1月	代表委員会（延期）
3月	事例検討会（中止） 集録発行 機関紙発行 令和2年度会員募集	3月	冬の学習会（延期） 代表委員会（リモート） 事例検討会（リモート） 機関紙発行 令和3年度会員募集

## 来年度の予定

令和3年	5月6日(木)	令和3年度 第1回代表委員会(大阪府立中央聴覚支援学校)
	8月18日(水)	令和3年度 第2回代表委員会(大阪府立生野聴覚支援学校)
	19日(木)	第22回夏の講演会・講習会(大阪府教育会館たかつガーデン) 講演会 講師 立入哉先生(愛媛大学教育学部 教授) 演題 「neo難聴への教育支援」 講習会 講師 北野庸子先生(信州きこえとことばのセンターやまびこ) 演題 「早期に人工内耳・補聴器を装用した難聴乳幼児の聴こえと言葉の発達と親指導」
	20日(金)	第22回夏の講習会(大阪府立生野聴覚支援学校)
	10月30日(土)	秋の講演会(大阪府社会福祉会館) 講師 山本晃先生(国立特別支援教育総合研究所研究企画部総括研究員) 演題 「聴覚障害児のコミュニケーションと言語(に関する実態調査)」
令和4年	1月28日(金)	令和3年度 第3回代表委員会(奈良県立ろう学校)
	1月29日(土)	冬の学習会(奈良) 講師 広中嘉隆先生(元奈良県立ろう学校校長) 演題 「言語指導における手話と日本語」

## 令和3年度近畿教育オーディオロジー研究協議会会員募集

来年度の予定は、上記の通り計画がほぼ決まっています。令和2年度には会員募集を中止して延期の扱いとしていた計画を令和3年度に工夫しながら運営していきたいと思っております。令和3年度は会員募集を行います。令和3年4月に入りましたら、入会申込書を所属している近畿地区聾学校・ブロック代表校の代表委員に提出してください。個人会員の方は、入会申込書を事務局(大阪府立中央聴覚支援学校:令和3年度より)宛に送ってください。詳しくは入会申込書をご覧ください。

### ごあいさつ

近畿教育オーディオロジー研究協議会 会長

三反田 多香子(和歌山県立和歌山ろう学校長)

春を告げる桜の開花もちらほら聞かれるようになりました。新しい生活様式と共に学校生活を送ることを余儀なくされ、本会の活動もほぼ休止とせざるを得なかった令和2年度。その中でオンラインを活用した代表委員会、事例検討会などできることを模索し、実験的な取組に着手できたことは今後活かされる経験です。この3年間、恩返しのつもりで努めて参りましたが、本会の活動や先生方の思いに触れ、改めて本会の意義や役割を実感しています。聴覚障害教育の魅力は一言では語れませんが、今後も「近畿は一つ」を合い言葉に教育オーディオロジーの火を燃やし続けることを願っています。

今後も本会が聴覚障害教育への思いを同じにする多くの関係機関、領域の方々と共に学び、高め合う場としてあり続けることを切望して止みません。

「ろう教育は近畿に始まって近畿で発展をみる」吉野公喜先生 語録より

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局  
〒640-8272  
和歌山県和歌山市砂山南3丁目1番73号  
和歌山県立和歌山ろう学校内

事務局長 内門 祐  
TEL: 073-424-3276  
FAX: 073-424-0310  
メール: [uchikado-y002@wakayama-c.ed.jp](mailto:uchikado-y002@wakayama-c.ed.jp)